

基本構想の方向性

令和6年2月6日
企画部経営戦略課

**1 ご議論いただくための前提
(説明)**

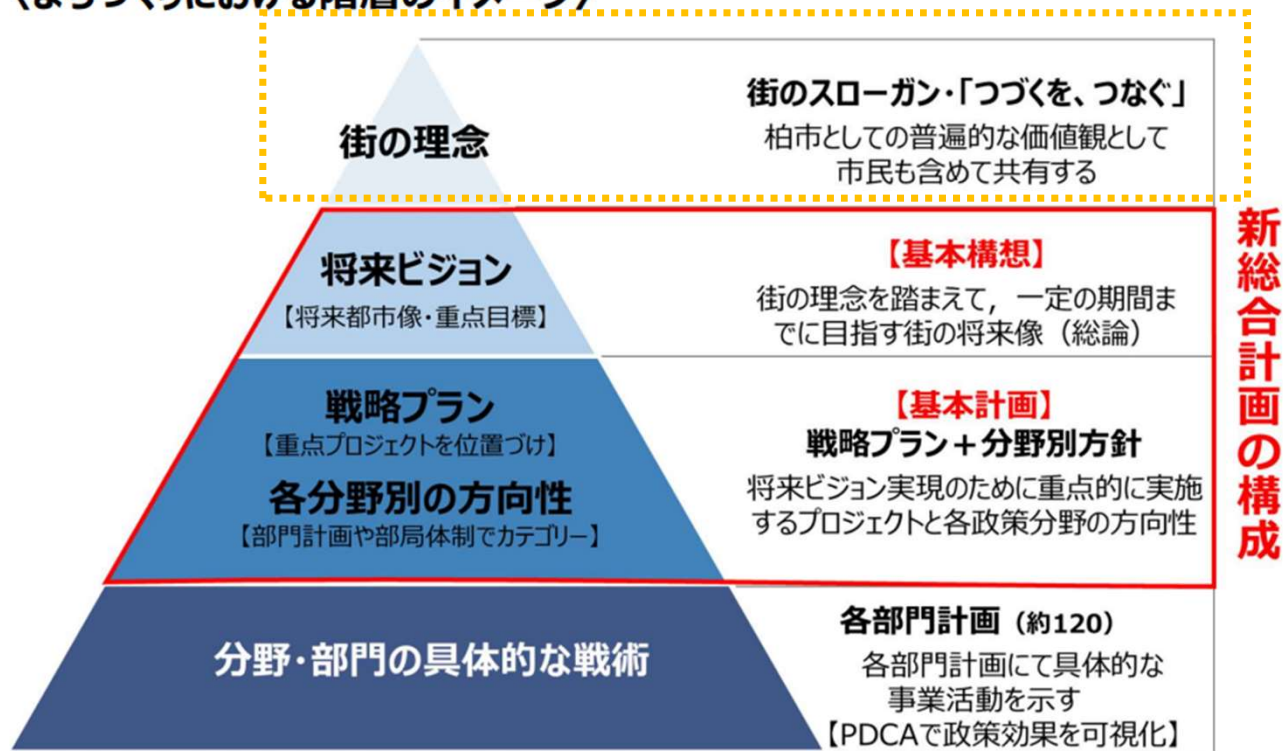
**2 総合計画の位置づけ
(説明・議論)**

**3 将来都市像等の方向性
(説明・議論)**

1 ご議論いただくための前提 街の理念「つづくを、つなぐ」について

「つづくを、つなぐ」は、街のスローガンとして、将来ビジョンの上位に位置づけられる「理念」となります。

〈まちづくりにおける階層のイメージ〉



1 ご議論いただくための前提 街の理念「つづくを、つなぐ」について

「理念」と「将来ビジョン」には、次の違いがあります。
「理念」は価値観や姿勢等を表し、「将来ビジョン」は目指す姿や目標等を表します。

	理念	将来ビジョン(基本構想)
意味	普遍的な価値観や、常に心掛けるべき基本的な姿勢等を表す	将来的に目指す姿や目標等を表す
役割	市民や市役所の取組や意思決定に影響を与える	街の成長や発展した姿を表すとともに、その方向性を示す
時間軸	定義されていない	中長期的(3~5年)または長期的(10年), それ以上
変更	普遍的な考え方であり、変更を前提としていない	社会経済情勢等を踏まえ、変更可能

参考
P10

理念, 価値観, 特徴を
簡潔にまとめた言葉。
認知, ブランドイメージ
醸成に貢献します。

目指す姿や価値観を,
簡潔かつ明確に表現した言葉。
明確で独自性があり実現性が
問われます。

参考
P11
民間企業

1 ご議論いただくための前提

理念である「つづくを、つなぐ」には、こんな意図や思いが

柏市の持つ資産・価値の抽出

参考
P12

柏の価値を 下記の視点 で抽出

- ・市の歴史・物語
- ・市民の意識
- ・市の職員の目線
- ・市の政策の方向性

- 自然・産業・賑わい・スポーツ・文化等、様々な価値や魅力が集積
- 地域ごとに特徴を有する
- 東京のベッドタウンとして成長し、人の動きに対応しながら時代と共に発展
- 関係する様々な人によってつくられた
- 一人ひとりがいつまでも成長できるまちへ
- 市民と共に／未来志向 等

+

柏市のオリジナルモチーフ



柏市ならではの価値や魅力を表すシンボルを市の名称でもある「柏の木」とした。柏は新しい葉が芽吹くまで今の葉が落ちないということから、「世代を繋いでいく」、「途切れることなく結ばれていく」という、縁起の良い木とされている。

その他柏の木のポジティブイメージ

成長 繁栄 持続性 神聖 丈夫 逞しさ

ブランドスローガン



【「つづくを、つなぐ」とは？】

柏はこれまで、多くの人、新しい考えを受け入れてきました。
みんなが作り上げてきた今を受け継ぎながら、変化を恐れずに進んでいく。
それは、これからも変わりません。
柏の木は、冬のあいだ枯れた葉を落とさず春を迎えます。
その様子は次の世代にバトンを渡すようです。
私たちが柏の木をお手本にみんなに愛される柏を、しっかり未来へつないでいきます。
ひとりひとりの知恵と工夫が、よりよいあしたへの大きな力になります。
「つづくを、つなぐ。」まちを、一緒につくっていきましょう。

2 総合計画の位置づけ ①総合計画の役割, 果たすべき機能

参考
P13
条例

地方自治法の改正により総合計画(基本構想)の策定義務は撤廃

➡ 策定主体自らが、総合計画の意義(役割や果たすべき機能)を見出し、位置付けできる

【市民の声】※市民参画より

市民と行政との情報共有, 協働による
地域課題の解決には伸びしろあり。

情報共有を通じた地域課題の解決
を望む市民

市と市民が共有
できる計画づく
りが大切なので
はないか？

【市の考え】※柏市第五次総合計画を振り返り

市役所内部のマネジメントに役立つよう「内部
向け」に重きをおいたが, 市民にわかりやすく
提供できたか。

内部マネジメントに重きをおき
行政サービスの向上を進めたい

【事務局提案】

次期総合計画においては, 市民と市が共有すべきビジョンを示し, 多様な主体の参画を促す

コミュニケーションツールとしての機能に重きをおきたい。

2 総合計画の位置づけ ②総合計画の推進主体等

総合計画の役割, 果たすべき機能として, **コミュニケーションツールとしての機能に重きを置く場合**

➡総合計画の推進主体(取組の『主語』)や, 協働(コミュニケーション)の相手はだれになるのでしょうか。

【一般的な総合計画】

- ・性格:「市の」マネジメントツールとしての計画
 - ・内容:行政各分野にわたる施策を網羅的・総花的に記載
 - ・推進:基本的には行政
 - ・協働:市民, 事業者
- (ただし情報共有と呼びかけは課題とされるケースが多い)

行政の役割は「推進主体」であり,
取組の主体は、基本的には「行政」となる。

【次期総合計画において考えられること】

- ・性格:「市と市民の」コミュニケーションツールとしての計画
 - ・内容:多様な主体により共有し, 実現していくべき内容を記載
 - ・推進:行政に限らず, 市民・団体, 事業者ら多様な主体
 - ・協働:市民・団体, 事業者らの多様な連携と協働を促す
- (子どもから高齢者までのあらゆる市民, 団体, 事業者に伝え,
呼びかける必要がある)

行政の役割は, 「主要な推進主体」であるとともに「マネジメント役」
取組の主体は, 行政, 市民など多様な主体を包含する。
(計画期間はどの程度が望ましいか等の位置づけも検討が必要)

3 将来都市像等の方向性 ①大切にしたいまちづくりの「要素」

参考
P14
前計画

ウェルビーイング

住みやすさ・居心地のよさの向上

ゼロカーボンをはじめとする環境面, **災害対応**等の安全面, **生活の利便性**や**快適性**など, 将来にわたり, **誰もが**安心して幸せに暮らせるまちを目指す。

リーディングコアシティ

新しい価値の創造

これまで**培った街**の性質を活かし, **多様な主体**がそれぞれ**連携**し, **革新**を生み出し続ける**文化**を**創造**することを目指す。

重なり合い部分…従来価値の磨き直し

手賀沼をはじめ, 様々な**地域資源**や**文化**, **産業**がつながることで, ヒトやコトやモノが**循環**して, 今よりも魅力的な街を目指す。 7

3 将来都市像等の方向性 ②描き出したい柏市の方向性

第1回審議会で紹介した柏市の現状(統計データ等)と策定方針(市の考え),今回紹介した街の理念「つづくを、つなぐ」に込められた意図や市民参画実施結果から,
「要素」を抽出し,事務局で「たたき台」として,取りまとめました。

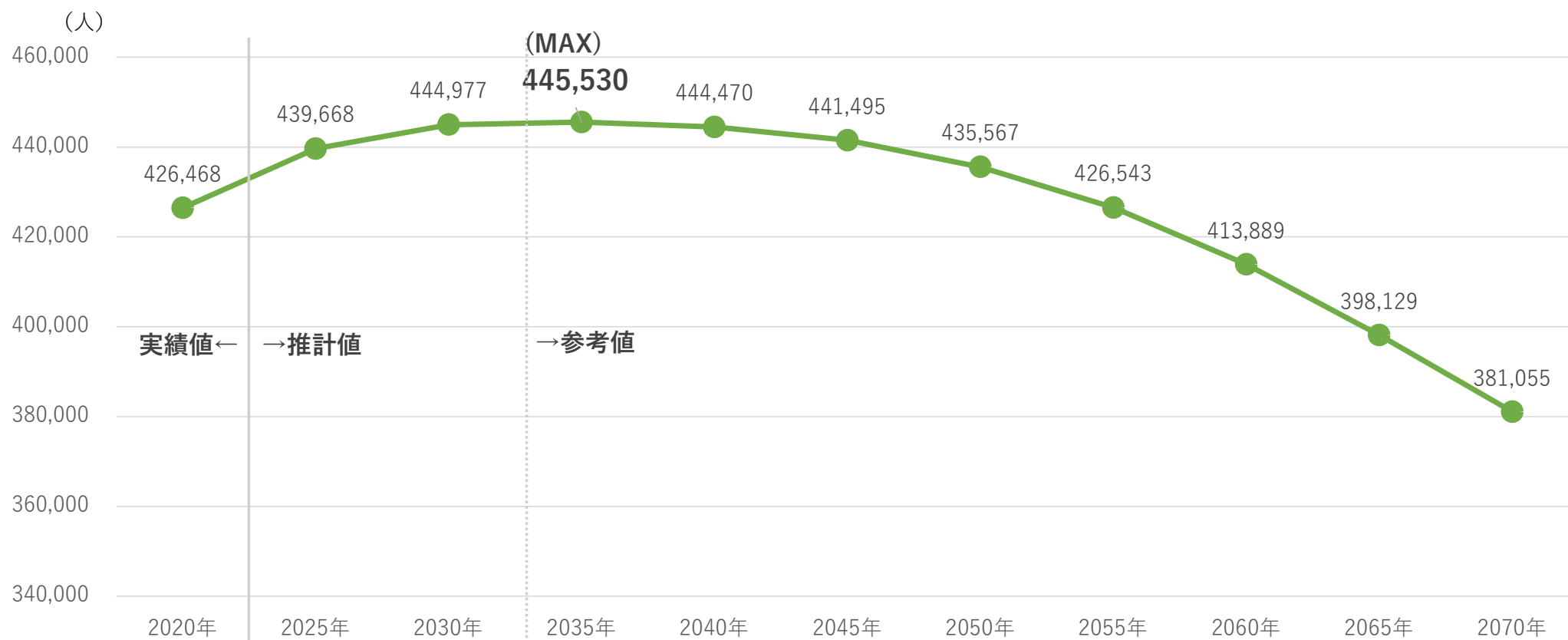
どのような「要素」を踏まえるべきか,委員の皆様のご意見を伺います。
(〇〇を重視, △△に結び付くように, 訴求力ある, 連携と協働を促す等)

資料編(Appendix)

- 1 将来人口推計
- 2 つづくをつなぐの構造
- 3 理念×将来ビジョン(民間企業の例)
- 4 柏市第五次総合計画条例(一部抜粋)
- 5 柏市第五次総合計画における将来都市像

1 将来人口推計（第一回審議会再掲）

市の将来人口は，2035年をピークに**減少**見込み



*将来人口推計とは，過去の出生・死亡・移動の実績を未来に投影し，将来の人口規模や年齢構成などの推移を算出するもの。

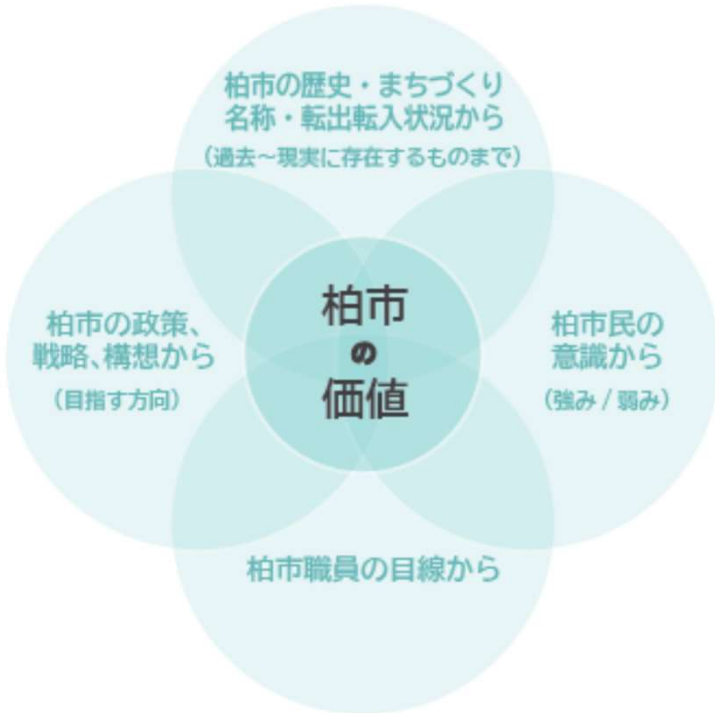
2 理念×将来ビジョン(民間企業の例)

	<p style="text-align: center;">理念（スローガン）／説明</p> <p>スローガン：理念、価値観、特徴を簡潔にまとめた言葉。 認知、ブランドイメージ醸成に貢献。 ステートメント：理念、価値観、特徴、らしさをステークホルダーに伝えたいメッセージ。</p>	<p style="text-align: center;">将来ビジョンのワード／（目標）</p> <p>ワード：目指す姿や価値観を、簡潔かつ明確に表現した言葉。 わかりやすく、独自性があり実現性が問われる。 目標：ビジョンワードで示したことを具体的に定義したもの。</p>
 <p>すべての人に移動の自由を、すべての人に豊かな生活を。</p> <p>トヨタ自動車の企業理念は、自動車を単なる移動手段ではなく、人々の豊かな生活を実現するための手段として捉えています。この理念に基づき、トヨタ自動車は、安全で快適なモビリティの提供を通じて、人々の生活を豊かにすることを目指しています。</p>	<p>より明確な方向性と独自性と実現する意志</p> <p>すべての人に移動の自由を、すべての人に豊かな生活を。（ブランドスローガンと同じ）</p> <p>品質：トヨタの強みである品質をさらに高め、お客様に安心と信頼を提供すること。 イノベーション：時代の変化に対応し、常に新しい価値を創造すること。 環境：地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現に貢献すること。</p>	
 <p>私たちは、地域に根ざし、お客様に親しまれ、信頼されるお店であり続けます。</p> <p>セブン-イレブンは、地域に密着した店舗運営を重視しています。この理念に基づき、セブン-イレブンは、地域のニーズに応じた店舗展開や商品の提供を通じて、地域に根ざしたお店であり続けます。</p>	<p>明日の笑顔を 共に創る</p> <ul style="list-style-type: none"> •価値ある商品・サービスを通じて、健康な社会を実現する •地域と共に生きる社会を実現する •環境に配慮した循環型社会を実現する •多様な人財が活躍し、幸せな社会を実現する 	
 <p>美しい人生を、かなえるために。</p> <p>私たちは、美を通じて人々の人生を豊かにすることを目指しています。この理念に基づき、資生堂は、高品質な化粧品や美容サービスを通じて、人々の美を追求していきます。</p>	<p>BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD（美の力でよりよい世界を）</p> <ul style="list-style-type: none"> •美の力で、人々の幸福を実感できる社会を実現する •美の力で、持続可能な社会を実現する •美の力で、多様な人々の幸せを実現する 	
 <p>つづくを、つなぐ。</p> <p>柏の木が、つぎの若い芽にバトンを渡していくように。みんなで、柏をつないでいこう。これまで、しなやかに変わってきたように。つづくために、私たちにできることがある。ひとりひとりの、あしたをよくする知恵と工夫で。柏市は、つづくをつなぐ、まちになります。</p>	<p style="text-align: center;">今回の議論</p>	

3 つづくをつなぐの構造

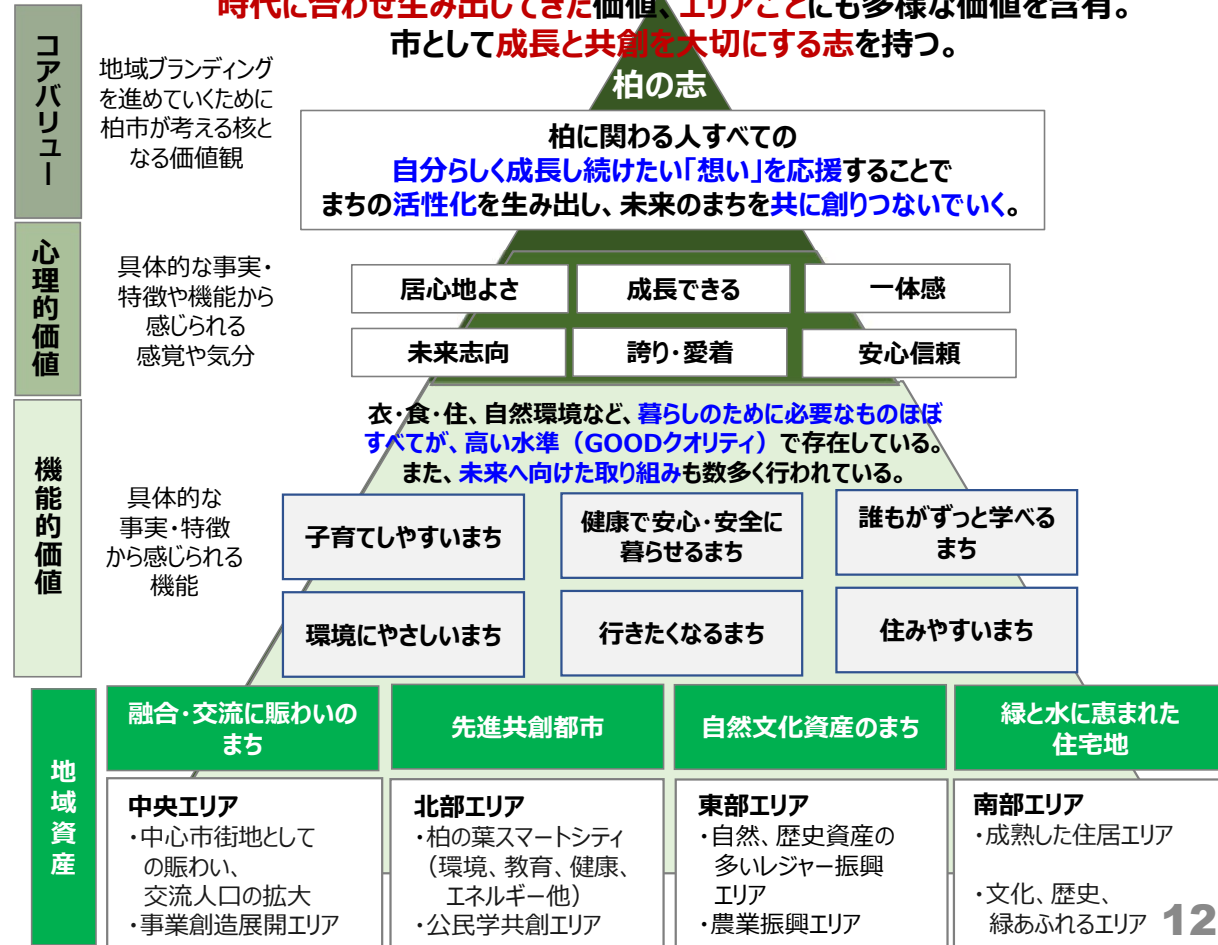
柏市の資産抽出・棚卸の視点

柏市には自然・産業・賑わい・スポーツ・文化等、様々な価値や魅力が集積し、地域ごとに特徴を持っています。現在の柏市は、東京のベッドタウンとして成長し、人の動きに対応しながら時代と共に発展してきました。また、柏市は関係する様々な人によってつくられてきたまちです。そこで、現在の柏市の形成に大きく関与している、市民や職員・市の政策・近年の歴史や人の流れ等に焦点を当てて、柏市の資産や価値の棚卸を行いました。



柏市の価値構造モデル

柏市は**関わる全ての人々と、受け継いだ価値や時代に合わせ生み出してきた価値、エリアごとにも多様な価値を含有。市として成長と共創を大切に**する志を持つ。



4 柏市総合計画策定条例(一部抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、本市の総合計画を策定することに関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 本市のまちづくりの指針となる総合的な計画であって、基本構想及び基本計画をもって構成するものをいう。
- (2) 基本構想 本市のまちづくりに係る構想であって、本市が目指す将来の姿及びその実現のための施策の基本的な目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想を踏まえた基本的な計画であって、本市のまちづくりに係る施策の方向性を体系的に示すものをいう。

(総合計画の策定)

第3条 市長は、総合的かつ計画的に市政を運営するため、総合計画を策定するものとする。

柏市第五次総合計画における将来都市像

第3章 目指す将来像

本市は県北西部の商業中心都市として発展し、また、都心近郊のベッドタウンとして開発が行われ、人口の増加とともに公共施設や行政サービス等の整備・拡充を進めてきました。

しかし、今後は、人口の伸びが鈍化し、少子高齢化がより顕著になり、大幅な経済成長は見込めないと予測される中、これらの課題に対し何を行うべきかを十分に検討し、本市の魅力や強みを活かしながら都市の活力と生活の質を高めつつ、将来にわたって持続可能なまちづくりを市民・事業者・教育機関・行政等が一体となって進める必要があります。

そのため、みんなで共有できるよう、柏のまちづくりの概念やイメージを目指すべき将来の都市像として設定します。

第2回審議会を経て、
第3回審議会にて提案予定

1 将来都市像

概ね今後10年を展望した本市の将来の姿を次のように設定し、目指す将来像とします。

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

2 設定にあたっての基本的な考え方

地域資源が活かされ、人が住まい、集うまちとなること

本市の将来の姿を考える出発点として、子どもたちが固有の歴史文化や風土、良好な教育環境の中で、未来の様々な分野の担い手に育ったり、心を癒し潤す恵まれた自然の豊かさ等がまちづくりに活かされたりしていることで、個々人の誇りや地域への愛着が高まり、長く住み続け、集いたくなるまちとなることが本市の理想の姿だと考えました。

そのためにも、子どもを安心して産み育てられる環境づくり、本市の強みや魅力をより引き出す取組、快適で利便性の高い交通環境や安心して過ごせる地域をつくること等、本市のこれまで培われてきた強みや特徴をさらに磨き上げ、多くの人が集い、そして暮らしやすい、一歩先を行くまちとなる必要があります。

(2) 持続可能なまちをつくる

計画期間の10年だけではなく、将来にわたって持続可能なまちを目指すには、未来を見据えた上で今後10年のあり方を考え、まちづくりに取り組む必要があります。持続可能なまちとなるためには、将来の市民に受け継いでいくために行わなければならない視点として、未来を担う子どもを大切に育てることや、いつまでも健康でいきいきと活躍できる環境、安定して暮らすことができる環境、地域のつながりをつくること等が重要となり、美しい自然環境を未来に残すことや大きな災害への備え、将来に負担を残さない行財政運営等も求められます。

これら(1)・(2)の点を「未来へつづく先進住環境都市」と表現しました。

(3) 地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくる

今後乗り越えていかねばならない重点課題を克服するためには、地域力を高め、これを全市的に波及させていく必要があります。この点を「笑顔と元気が輪となり広がる」と表現しました。

また、全国的な人口減少の中では、定住人口だけでなく、交流人口も増やし、首都圏での重要な結節点として市の吸引力を向上させる視点も必要となります。

これらの点を「交流拠点」と表現しました。また、このように定住人口と交流人口の両面を増やすことができることは、本市ならではの強みであり、「先進住環境都市」の「先進性」を示す特徴の一つになります。

第2回審議会で議論を予定